

すぎのこ

131

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2013 7/1

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
 飯能研修センター：〒357-0063 埼玉県飯能市飯能325-2 TEL.042-971-4121 FAX.042-971-4155
 滝沢研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡滝沢村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1662

2面・3面 制作だより／文化部
 の活動／園からの声／影絵紙芝
 居講習会開催／賛助会のご案内
 ほか

4面 事務局だより／すぎのこ春
 の人形劇場開催 ほか

<http://www.suginoko.org/>

E-mail: support@suginoko.org



九州は連日、30度を超える真
 夏が続ぎ、夏本番のよう。車
 のハンドルを握る腕は、すっか

たのきゅうの
 うわばみだいじ 班

榎本 均

巡る夏祭り



り日焼けしています。

去る5月26日の日曜日、長年
 お世話になっている熊本たけの
 こ会の主催で、熊本大学の人形
 劇活動をしている学生たちを中
 心に交流公演を行いました。

ふだんの保育園、幼稚園の子
 どもたちの反応とは違いますが、
 真面目、真剣、一生懸命、若い
 力、新しい力を大いに感じるこ
 とができました。

今年の夏休みに、県内の子ど
 も達に見せる人形劇の練習、真
 つ只中です。夏休みは、アルバ
 イトをしたり遊びたいと思うだ
 ろうけれど、これはやっぱりな社
 会活動への参加。大学も、これ
 から、一生勉強。

私も人形劇人として、プロと
 言われて久しいけれど、初心忘
 れるべからず。

なぜ人形劇を...と聞くと、「子

どもたちの人形劇を見るキラキ
 ラした目を忘れられないから、
 そしてその未来を信じたいから、
 そして自分も...」

冷房のない蒸し暑い大学の教
 室に、さわやかな風が吹いてい
 ました。

とべー ドードー 班

野見山 大輔

5月4日は「池袋いけいけ人
 形劇まつり」に参加しました。

慣れないホール公演での緊張
 のせいか、酸欠気味でしたが、
 蜂の人形を持つて出た時に思い
 のほか子ども達が反応してくれ
 て、楽しんで演じることができ
 ました。

このイベントはもう二十六年
 続いていて、人形劇を愛する人
 達の熱気にあふれています。仕
 事が忙しくて作品を作る時間が
 なくなったアマチュアの人も、
 スタッフとして参加して支えて
 くれていて、本当にありがたい
 です。

長く続けるって、それだけで
 尊い。きっと、何度もやめてし



まおうと考えた時もあったかも
 しれませんが、多くの人の力で今
 年の開催につながったことは、
 本当に感謝の気持ちでいっぱい
 です。

わらしべ長者 班

菅谷 香純



新しい作品になり、一から始
 める大変さと、改めて演技の難
 しさを感じています。

以前の作品とは違う雰囲気
 の作品で、どう演じればよいか戸
 惑う部分もあり、うまくいかな
 いことも多くて稽古中は大変な
 日々でした。春休みの稽古が終
 わっても、これでいいの不安
 でしたが、公演を通して子ども
 達が楽しんでくれている様子
 を見ると、少し安心していま
 す。子ども達の反応はいろいろで、
 予想しないところで意外な反応
 があつたりして、とても新鮮で
 勉強になります。

見ていただいている先生や子
 ども達のために、いつも100
 パーセントの劇をやりたいと思
 うけれど、なかなか難しく、時

には落ち込んだりもします。こ
 うしたことが少しでもなくなる
 ようにと心がけて、稽古や公演
 をしていこうと決意しています。
 旅も楽しみつつ、これから一
 年よい芝居をお届け出来るよう
 頑張ります。

どろぼうのなみだ 班

太田 令

班責という大役を任されて早
 四年。久しぶりのケコミ芝居を
 受け持つことになりました。
 今回は影絵とのコラボレーシ
 ョンがあり、段取り等なかなか
 頭に入らず苦労しました。
 覚えることができると、今ま
 ではない形式の作品であり、
 いろいろな考えや手応えがあつ
 て、自分の成長にとってもいい
 では? と思えるようになりま
 した。

子ども達にとっては若干難し
 い内容ではありますが、そんな
 子ども達の心に残り、成長した
 時「ああ、あの作品はこういう
 意味だったのか」と、振り返っ
 てもらえるならば幸いと思っ
 ています。

今後は、より子ども達の目と、
 耳と、そして心に残る舞台を作
 り上げていけるように、と精進
 して行きます。



制作だより

すぎのこは、各地のお祭りやイベント行事などにも呼んでいただくことがあります。

5月5日のこどもの日には、童話の町で有名な大分県玖珠町の「日本童話祭」に「たのきゅうのうわばみだいじ」を呼んでいただき、地域の方や各地の劇団の方々と交流し、とても充実した時間を過ごすことができました。

また、この夏8月10日(土)には、長野県飯田市の日本最大の人形劇祭り「いい大人形劇フェスタ」に於いて、「どろぼうのなみだ」での公演も決まり、俳優共々楽しみにしています。お時間ある方は、ぜひお子様連れでお出かけください。

今回はワッペン料金といいまして700円でワッペンを購入すると、すぎのこはもちろん、

他の人形劇も見放題になりますので、とてもお得ですよ。ふだんは全国各地の幼稚園・保育園などでしか見られないすぎのこの人形劇ですが、この日は年齢問わず、どなたでも自由に会場にいられますので、ぜひこの機会に！お待ちしております。

(白石高章)

文化部の活動

被災地宮城県へ「影絵紙芝居」のDVDと舞台をプレゼント！

日本の心を受け継ぐ、影絵紙芝居DVD！

影絵紙芝居DVDになる6作品は次の通りです。

第一巻「ももたろう」

(七月のおはなし)
「うらしまたろう」

第二巻「さんまのおふだ」

(八月のおはなし)
「さるかにがっせん」

第三巻「かちかちやま」

(十一月のおはなし)
「かきじぞう」
(十二月のおはなし)

(公財)JK Aの補助決定！



この事業に公益財団法人JK Aの補助が決定しました。影絵紙芝居DVDと影絵紙芝居用舞台を製作し、無料贈呈への準備を進めております。



日本の代表的な民話伝説から選びました。民話は、受け継がれてきた日本の文化です。「優しさ」や「知恵」など、日本人が大切にしてきたものが詰まっています。

企画／(公財)すぎのこ芸術文化 振興会

補助／(公財)JK A

監修／小澤 幸雄

演出／下村 あきら

脚本／浅野 茜子

影絵／上田 順一

音楽／夏原 明彦

他

画期的な影絵紙芝居用舞台！

この影絵紙芝居用舞台は折りたため、コンパクトにできるのので、持ち運びに便利です。また、影絵紙芝居を直接差し込んで、スクリーンを差し込んでプロジェクターで投影してもお使いいただけます。

園からの声



たのきゅうのうわばみだいじ

■桜井保育園 (福岡県糸島市)

少し怖いもののお話に入ると、子ども達はウキウキして喜んでいきます。

風景や建物などがとても上手にできていて、毎回驚いています。人形の顔の早変わりも素晴らしいですね。

0〜6歳児まで、よく集中して見ていました。

■納所保育園 (佐賀県多久市)

子どもが知っている話を導入に使うことで、2歳児もスムーズに場の雰囲気になじめました。また、着ぐるみや大きい装置がなかったので、怖がらずに見ることができました。

声の大きさもちょうどよくて聞き取りやすく、劇のストーリーもわかりやすかったので、興味を持って集中して見ていたようです。自然と手拍子が出て、盛り上がりがありました。

■なのみ保育園 (大分県中津市)

人形劇も前座もとてもつり合いがよくて、小さな子どもでも最後まで楽しめました。私達保育者にとっても大変勉強になりました。

ありがとうございました。

ぐべー！ぶーぶー

■袋津保育園 (新潟県新潟市)

子ども達もよく聞いてくれていました。年長児が地域の清掃活動に取り組んでおり、環境問題として身近に考えられるものだったと思います。

わらしべ長者

■釧路こぶき保育園 (北海道釧路市)

今までも何度かすぎのこさんの人形劇を拝見させていただいておりましたが、今回のお話はとても子ども達にわかりやすく、子ども達も楽しんでいました。人形や音響もとてもよかったです。未満児が一人も泣かずに見ていたのは驚きました。

ありがとうございました。

■計根別幼稚園 (北海道中標津町)

何度か来園くださった人形劇を演じていただいて感謝しています。本園の子ども達は、子どもらしい反応をするので、毎年の観劇を本当に楽しみにしています。人形劇の素晴らしさに、いつも皆で感動しています。

■わかば愛育園 (北海道上富良野町)

作品名を聞いた時には、小さい年齢の子には難しいのではと思っていました。優しい声の

どろぼうのなみだ

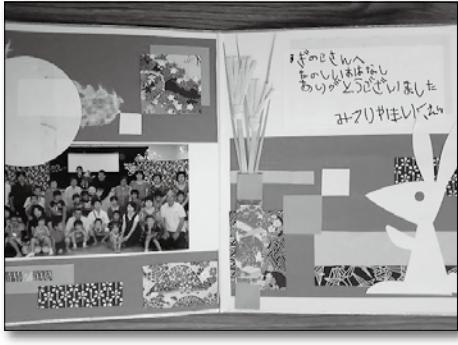
■和光保育園 (東京都国立市)

ストーリーは理解できなかったと思いますが、人形の動きや歌が気に入ったのか、入園したばかりの1歳児2名が最後まで興味を持って見ていたのは驚きでした。

3〜5歳児は、集中している様子で手拍子をしたりして歌を楽しんでいました。前々から影絵を見たいと思っていたので、影絵の美しさと人形の動きがマッチしたのが見られて、とてもよかったです。

■中里保育園 (静岡県富士市)

年少以上の子ども達は、集中して見ていたようです。その日の昼休み、子ども達に「どろぼうってどういう人？」と質問してみました。A君「どろぼうって、男の人で、ひげをはやしている人」 B君「えーっ？ ぼくのおじいちゃん、ひげあるけど、どろぼうじゃないよ」 子ども達も「楽しい」としみじみ思いました。



長崎県松浦市みくりや保育園より

影絵紙芝居講習会開催

去る5月13日、北海道斜里大谷幼稚園において、影絵講習会を開催いたしました。

今回はお話仕立ての影絵紙芝居を作成したいとのことでしたので、題材は『さるかに合戦』。おおまかに分けて4パターンの背景作りをしていただきました。

先生方は、手際よく、スムーズに仕上げていく様子がわかりました。きちんとしたこだわりもあって、色の組み合わせにおいても個性があり、とてもきれいな仕上がりでした。

最後は登場人物を背景にあわせて、実際に『さるかに合戦』の影絵紙芝居を行いました。短時間なのに完成度は高く、大胆かつ正確に完成させた先生方は、やっぱりすごいな—と思いました。
(わらしべ班 西條沙夜香)



新人紹介



鳥居 正幸

5月からお世話になっています。

子どもが好きで、子ども達を喜ばせることができる仕事をしたいと思い、人形劇に興味を持ちました。未経験ですが、これから頑張りますので、皆様よろしくお願いします。

不思議な「縁」



影絵紙芝居用舞台

「お菓子の汽車」

結婚のため、部屋の整理をしていた時、懐かしいものが出てきました。

それは、幼稚園の頃、ピアノの発表会で弾いた曲「お菓子の汽車」の楽譜でした。私は、楽しくて元気が出るこの曲が大好きでした。力いっぱい弾いて、「茜子ちゃんらしいね」と言われ、誇らしげに感じたことを覚

えています。

私のために、この「お菓子の汽車」を発表会の曲に選び、長年ピアノを教えてくださった先生は、今はもういません。昨年結婚することになったと挨拶にうかがったすぐ後、突然癌で亡くなってしまったのです。

作曲家との巡り会い

そんな思い出深い「お菓子の汽車」の楽譜を眺めていて、思わず、「あつー」と声をあげてしまいました。そこには「作曲 夏原明彦」と書かれていたからです。

作曲家の夏原先生は、「とべ！ドードー」や「みどりのほし」等、たくさんのすぎのこの音楽を手がけてくださっています。そして、今回私が脚本を担当している影絵紙芝居DVDの音楽を作曲していただくことになっています。私の作詞に、夏原先生が

音楽をつけてくださるのです。

「先生が幼い私に教えてくださった曲の作曲家と、お仕事をさせてもらっているんですよ」と、天国へ逝ってしまったピアノの先生に報告をできなかったことが、残念でなりません。もしこの話を聞いたら、優しい先生は、心から喜んでくれただろうと思います。

子ども達のために

最近よく、幼い頃の自分を育ててくれたものが、今の私につながっているのを感じます。すぎのこの人形劇や影絵を観た子ども達も、大人になった時、自分を育てた「懐かしく幸せな思い出」の中にすぎのこの思い出してくれたなら…。そんな明るい希望を持って、この作品創りに真剣に取り組んでいきたいと思っています。

(脚本担当 浅野茜子)

賛助会員募集！

すぎのこは「税額控除認定法人」(認定法人への寄付金の一部は納税額から控除されます)です。すぎのこの活動を側面から支援するだけで何の見返りも無い賛助会ですが、入会された方には会員証の外に、アンパンマンでおなじみのやなせたかし先生がデザインしたすぎのこ「すくすく」のバッジ(写真)をお贈りしています！ 賛助会員募集中です。



すくすくレモン(入会3年未満)



すくすくレバー(入会5年以上)

すくすくオレンジ(入会5年未満)

公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会 定款施行細則「賛助会規程」

- 賛助会に關し「賛助会規程」を以下に定める。
- 賛助会に關する基本事項に關しては、定款第45条によるものとする。
- 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
- 賛助会費を納める「会費制賛助会員」

個人	年額	3,000円 以上
団体	年額	10,000円 以上
- 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」

個人	年間	3日間以上
団体	年間	5日間以上
- 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならない。
- 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
- 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
- 賛助会費を滞納した場合、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
- 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
- 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
- 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に關して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
- 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名することができる。
- 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
- 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
- この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

*会費納付のお願い

皆様には大変ご負担をおかけしておりますが、今年度の会費納付をお願い致します。

※公益法人への税制支援策

- 企業の寄付に關して
 - 企業が一般に寄付する場合(課税対象額から損金算入限度額内の実費が控除される)
 - 企業寄付金の損金算入限度額＝(所得基準額＋資本基準額)÷2
 - 所得基準額とは所得額の5%をいう。資本基準額とは資本金の0.25%をいう。
 - 資本基準額＝資本金等の額×(当期月数÷12)×2.5÷1000＝(資本金の0.25%)
 - 企業が公益法人に寄付する場合
 - 一般に寄付する場合の枠と同額を損金に算入出来る。
 - (所得額の2.5%＋資本金の0.125%)＋(所得額の2.5%＋資本金の0.125%)
- 個人の寄付に關して
 - 個人の寄付は課税対象とはならない
 - 個人が寄付金の所得控除を受ける場合
 - 所得控除額＝寄付金額－2000円(但し所得金額の40%以内を限度とする)
- 公益法人が税額控除対象法人になった場合の個人寄付は
 - 住民税税額控除：税額－税額控除(寄付金額－5000円)×住民税率(所得金額の30%以内が限度)
- 公益法人が税額控除対象法人となる条件
 - 認定NPO法人の認定要件下記PST(パブリック・サポート・テスト)を満たす事。
 - 1(受入寄付金総額－イの金額)÷(総収入総額－ロの金額)が20%以上である。
 - イ. 一人で受入寄付金総額の2%を超える部分＋3000円未満の寄付金＋寄付者氏名不明者寄付金
 - ロ. 国・地方自治体からの補助金や負担金＋資産の売却収入と遺贈により一人で受入寄付金総額の2%を超える部分＋3000円未満の寄付金＋寄付者氏名不明者寄付金
 - 2絶対数判定：実績判定期間内3000円以上の寄付者が年平均100人以上である。
 - 実績判定期間＝5年(但し公益制度改革期間内では2年の特例あり)
 - *生計を同じにする会員は複数いても一人と見なされます。
 - *認定NPO法人の認定要件と同程度の情報公開に関する要件を満たす。

公益財団法人 JKA補助事業



公益財団法人JKAより補助を受け、平成25年度「民話伝説伝承補助事業」が開始致しました。

日本人のすばらしい精神文化を育んできた日本古来の民話や伝説を題材に、民話伝説伝承に適した幻想的な影絵を活用し、

今年は6作品(各50本) 計300本の影絵紙芝居用DVDとDVDを投影する50台の影絵紙芝居用舞台を製作して、東日本大震災の被災地である宮城県において無償で配布する予定です。幼少期より、どんな動物にでも、どんな植物にでも、どんな

物にでも生命や存在意義があることを認識し、それらを思いやる心、大切にすることを培い、相手の立場に立つて考え行動できる人間性あふれる心豊かな子ども達を育み、あらゆるものを神と思ひ畏敬し尊んできた日本人の心を今一度呼び戻し、呼び覚ますという活動を展開して参ります。

公益財団法人JKAのご支援に、心より御礼申し上げます。

独立行政法人 日本芸術文化振興会助成事業



日本芸術文化振興会 芸術文化振興基金より助成を受け、平成25年度「わらしべ長者 全国巡回公演」助成事業が開始致しました。

子どもたちに「夢と希望」を届けたい。そんな想いを胸に50周年を目前にした我々は改めて原点に戻り、昔話を通して培ってきた日本人の心を後世に受け

継ぐべく、民話の「わらしべ長者」を取り上げました。すぎのこは人形劇でありながら影絵や各地の民話・伝承にも力を入れ、それらをより効果的に表現するべく生の台詞や生の音にもこだわりを持って作品作りをして参りました。今回は「拍子木」の発する生音や、昔懐かしい「紙芝居屋さん」の様式を取り入れ、

古来日本各地で親しまれてきた「篠笛」の調べと共に人形劇が進行していくという新しい試みもあります。この作品は一学期北海道を皮切りに全国巡回公演を実施中です。

日本芸術文化振興会のご支援に心より御礼申し上げます。

事務局 だより



第2期の理事が改選されました(平成25年5月29日付)。

理事(4名)
榎本均 重任
小澤幸雄 重任
清水治 重任
下村明 重任(50音順)
決意も新たに、今後の活動に

研修センターのご案内

力を注いで参ります。皆様の更なる御指導御支援をお願い申し上げます。

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会(現財団法人JKA)の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦恋研修センター」並びに埼玉県日本宝くじ協会の助成により

建設された「すぎのこ飯能研修センタードリーム館」があります。

音楽や演劇等の芸術文化活動はもちろん、どなたでも時間を気にせず、自由にのびのびと、お使いいただける施設です。合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討下さい。(利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません)

「婦恋研修センター」は、一年を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただける他、敷地内にはテントサイト(シャワー・トイレ完備の専用洗面棟併設)やバーベキューが楽しめる集会棟、アスレチック、テニスコート等も整備され、多目的に活用できる施設です。

サンライズホール上演

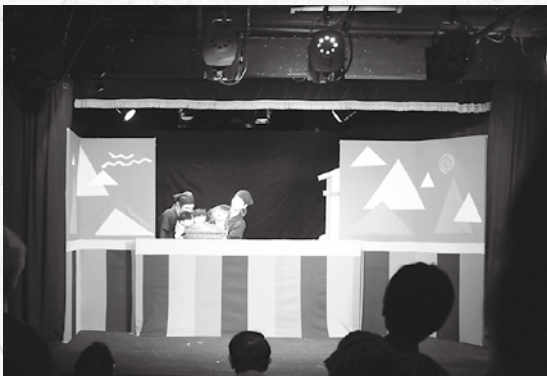
「すぎのこ春の人形劇場」

4月28日、すぎのこ池袋事務所の地下にあるサンライズホールで、「すぎのこ春の人形劇場」が開催されました。このサンライズホールは、かつて「寿限無」という名前のすぎのこ常設舞台でした。すぎのこにとって大変思い出深いホールです。

今回の上演作品は、影絵紙芝居「さんまのおふだ」、絵話「三匹のこぶた」、人形劇「たのきゅうのうわばみたいじ」の三本立てでした。大人のお客様が多かったにも関わらず、皆様、手を叩いたり、笑ったり…子ども達の気持ちに戻って、楽しんでくださいました。

すぎのこ賛助会員、地元の池袋にお住まいの方、他劇団の俳優、影絵サークルの方など、普段の上演ではなかなかご覧いただけないお客様にも足を運んでいただきました。様々な御意見をお聞かせいただけて、大変よい刺激になりました。

来年の50周年に向けて、すぎのこを支えてくださっている皆様に、これからもすぎのこの人形劇を観ていただく機会をつくっていききたいと思っております。



活動記録(平成25年4月〜6月)

4/1	公益財団法人JKA補助事業「民話伝説伝承補助事業」内定通知書受理
4/28	すぎのこ春の人形劇場開催 於・サンライズホール(東京都豊島区)
5/4	池袋いけいけ人形劇まつり参加 於・コアいけぶくろ(東京都豊島区)
5/5	第一期全国巡回公演開始
5/10	人形劇講習会開催 於・みどりがおか幼稚園(福岡県福岡市)
5/13	影絵紙芝居の作り方講習会開催 於・斜里大谷幼稚園(北海道斜里町)
5/24	第4回定例理事会 於・当財団事務所
5/28	第2回定例評議員会 於・当財団事務所
6/28	平成24年度事業報告及び収支決算報告を内閣府に提出